



Think Automation and beyond...



IDEC 株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
TEL: 06-6398-2500(代表)
<http://jp.idec.com>

IDEC Report 2019

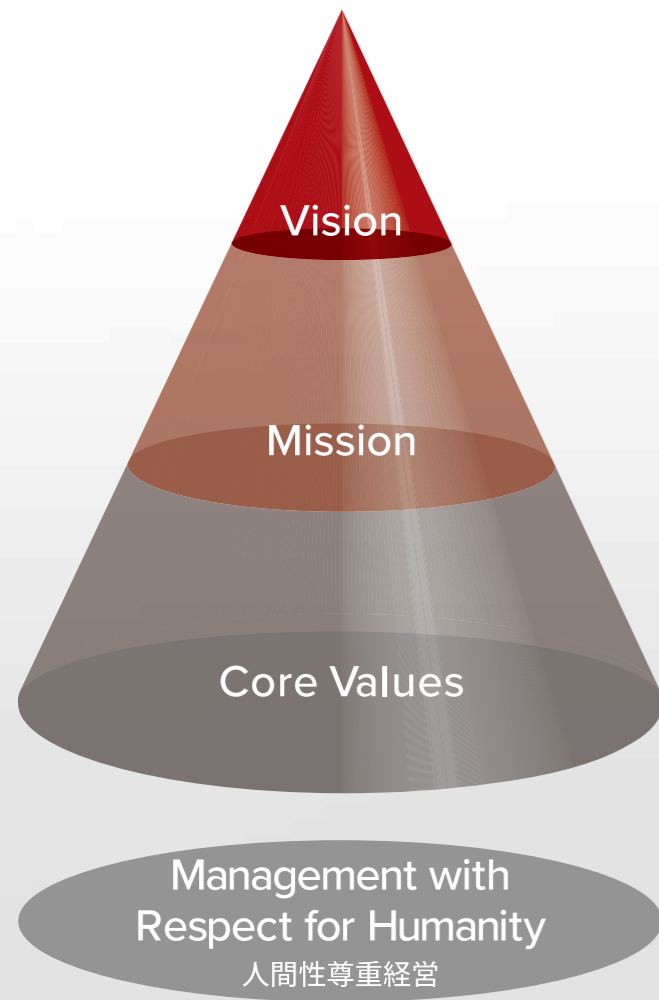


この報告書は環境に
配慮し、植物油インキを
使用しています。



The IDEC Way

IDECグループは、真のグローバル企業を目指していくための新しい理念として『The IDEC Way』を制定しました。



Vision ——— 私たちが目指す未来

Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.

いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

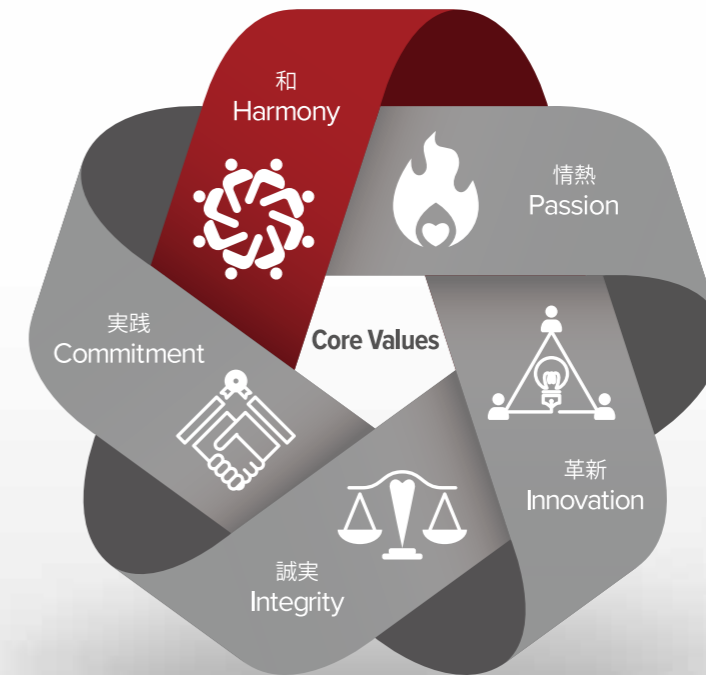
ものづくりの未来と新たな可能性を創造し、明日の「当たり前」となる、新しいスタンダードの開拓者となります。そして、全ての人々に幸福と安心をもたらす、より安全で持続可能な社会の実現を目指します。

Mission ——— 私たちの存在意義・使命

To create the optimum environment for humans and machines.

人と機械の最適環境を創造

人と機械の接点となるインターフェイスにおいて、使いやすさと安心を追求した製品やサービスをご提供することで、新たな価値を創造し、社会課題の解決に貢献します。産業現場から日常生活までの幅広いシーンで、安全性、操作性、信頼性、環境負荷低減など、多様なお客さまのニーズにお応えします。



Core Values ——— 私たちが共有すべき価値観

	Harmony	和	ビジョン実現のために全てのステークホルダーと協調する。
	Passion	情熱	常に情熱と誇りを持って、楽しく最高のパフォーマンスを追求する。
	Innovation	革新	お互いの個性を活かし、失敗を恐れず挑戦することで、進化し続ける。
	Integrity	誠実	何事にも真摯に向き合い、誠実・公正に行動することで、信頼される存在であり続ける。
	Commitment	実践	オーナーシップを持ち、スピーディーかつ効率的にそれぞれの役割を遂行する。

Index

- 1 The IDEC Way
- 3 Top Message & Strategy

- Business Overview
- 7 グローバルネットワーク
- 9 価値創造プロセス

- Our Business
- 11 製品紹介
- 13 事業紹介
- 23 特集
- 25 トピックス

- CSR
- 27 CSRマネジメント
- 29 CSR活動トピックス

- Corporate Data
- 31 財務・非財務データ
- 33 役員紹介
- 35 沿革
- 37 会社概要

真のグローバル企業へと変革し、 持続的な成長を実現するための取り組みを 加速してまいります。



取締役 小林 浩 取締役 八田 信男 代表取締役会長兼社長 船木 俊之 代表取締役専務 船木 幹雄 取締役 山本 卓二

2018年度の業績

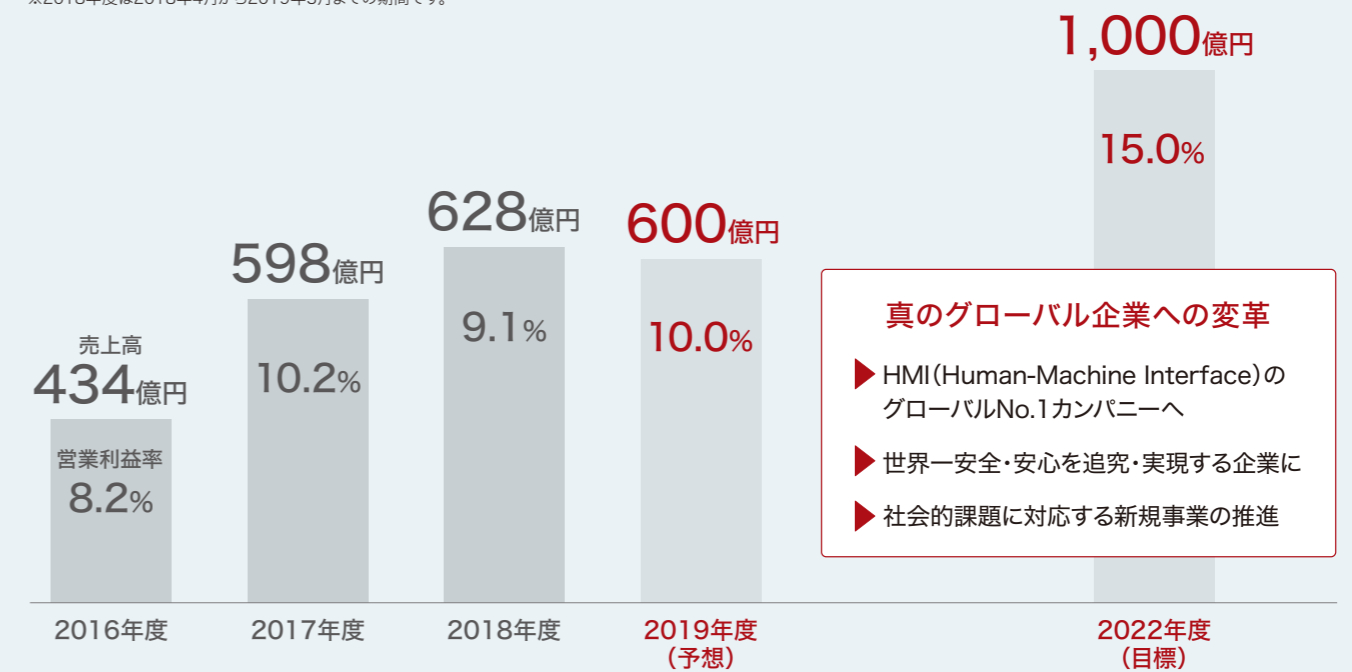
上半期までは、設備投資需要や生産設備の自動化ニーズの高まりなどにより好調に推移しましたが、下半期からは、米中貿易摩擦の影響などもあり厳しい事業環境となりました。

このような環境の中、日本においては、新たにグループ化した企業の売上が寄与したことに加え、安全・防爆ソリューション製品などの売上が堅調に推移しました。海外においては、2017年に買収したフランスAPEM社が好調に推移したことで、主力事業であるHMI (Human-Machine Interface) ソリューション製品が伸長した他、米州においてもオートメーションソリューション製品などの売上が増加しました。

その結果、連結全体の売上高は628億円(前期比5.0%増)となりました。

一方利益については、新規連結に伴い販売管理費が増加したことに加え、厳しい外部環境を踏まえて国内外の事業再編を加速した影響から、営業利益は57億円(前期比6.3%減)、営業利益率9.1%となりました。

※2018年度は2018年4月から2019年3月までの期間です。



中長期的な成長目標達成に向けた基本戦略

1 【主力事業】 ～グローバルビジネスのさらなる拡大～

- HMIの「グローバルシェアNo.1」実現に向けた製品戦略の展開とAPEM社とのシナジー創出
- Push-in接続方式を採用した各種製品のグローバル販売による、さらなるシェアの拡大
- インド市場の開拓による、アジア・パシフィック地域の売上拡大の推進
- 安全・安心を実現する機器の開発や人材育成に加え、Safety2.0、Vision Zeroなどのグローバル展開加速
- グローバルなマーケティングプラットフォーム構築と、その仕組みを利用した営業モデルの浸透
- 収益性の改善と、品質・納期・生産性向上を実現するための各種取り組みの加速

2 【新規事業】 ～グループ会社間連携の強化～

- IDECの安全関連機器と協働ロボットなどを組み合わせた協調安全ロボットシステム事業の拡大
- サプライチェーン全体におよぶ自動化を中心としたストアソリューションの提案
- メガソーラーから、自家消費太陽光発電やエネルギー・マネジメント・システムへの環境・エネルギー事業の移行推進

3 【経営基盤】 ～グローバルでの経営品質の向上～

- グローバル人材マネジメント体制の確立
- 企業変革を牽引する人材の育成・確保の実施
- ライフワークバランス実現に向けた働き方改革の実施
- ダイバーシティの推進による生産性の向上
- グローバル事業推進体制強化に向けた組織の構築

1 主力事業におけるグローバルビジネスのさらなる拡大

長年培ってきたFA(ファクトリー・オートメーション)の知見やノウハウを活かし、IDECグループが強みを持ち、今後成長が期待できる9つの業界に注力することで、幅広いソリューションを提供するとともに、グローバルビジネスの拡大に向けた地域別戦略の推進により、主力事業の強化を図っております。

また、顧客の属性や行動データをグローバル共通のプラットフォームで蓄積・分析し、ニーズに即した情報・サービスを提供することで売上拡大を図る、「デジタルマーケティング」を推進することで、グローバルなマーケティングプラットフォームを構築しております。

これらの取り組みに加え、2019年から省配線・省スペース・高い信頼性を実現する新しい配線方式、Push-in式を採用した各種制御機器製品の販売を開始し、グローバルシェアの拡大と、生産現場の利便性・安全性の向上を目指してまいります。

高収益体制への変革に向けては、物流体制・生産拠点の最適化や、生産の自動化・効率化、材料・製品の統廃合・品目削減によるコスト低減などを推進するとともに、品質、納期、生産性向上を図ってまいります。



地域別戦略

Americas

- ソリューション強化によるオートメーションと安全関連機器の売上拡大
- IDECとAPEM社のシナジー強化による顧客基盤の拡大とHMI製品の拡販推進
- デジタルマーケティングによる商談生成の最適化を推進
- 注力業界へのソリューション販売によるプレゼンスの最大化

EMEA(欧州、中東、アフリカ)

- 多岐にわたるAPEM販売チャネルを活用したスイッチ等制御機器の拡販
- 安全関連機器を核としたIDEC製品全体の成長戦略の構築
- 展示会やデジタルマーケティングによるIDECブランドのさらなる強化
- パーティカル戦略に基づくOEM開拓への注力
- 代理店販売網の有効活用とチャネル増強によるIDEC製品の販売最大化

Japan

- Push-in端子搭載機器の市場浸透による盤内革命の推進
- 「協調安全(Safety2.0)」の推進による安全・安心ビジネスの強化
- 販売チャネルを活かしたHMI製品、APEM、盤内機器製品の販売拡大
- 注力業界へのフォーカス
- 特定アプリケーション向けの革新的なIoTソリューションの提案

Asia Pacific

- インドやインドネシアなど地理的プレゼンスの拡大
- 自動車、工作機械など注力業界に特化した営業戦略の推進
- チャネルパートナーとの連携強化
- テクニカルサポートと現地スタッフの教育強化
- アジア・パシフィック地域内オペレーションの最適化

Greater China

- 中国製造2025で対象となる注力業界へのソリューション提案
- 中国市場に特化した新製品の投入
- チャネル制度の一新とチャネルパートナーとの連携強化
- 全国機械安全標準化技術委員会との協調、安全ニーズへの対応力強化
- 技術サポートの強化による顧客サービスの充実

2 グループ会社間連携の強化による新規事業の拡大

グループ会社間の連携を強化し、それぞれの強みを活かすことで、さまざまな新規事業を展開しております。

協働ロボットと、IDECの安全関連機器や最適なビジョンセンサ、人工知能(AI)、無人搬送車(AGV)などを組み合わせた、協調安全ロボットシステム事業の拡大を進めるとともに、多様な製品やソリューションを活かした、生産、物流、店舗までのサプライチェーン全体におよぶ自動化を中心としたストアソリューションの提案を行っています。

制御技術、安全技術などを活用した事業を推進することで、社会に新たな価値を創造し、さまざまな課題の解決に貢献してまいります。



3 グローバルでの経営品質の向上

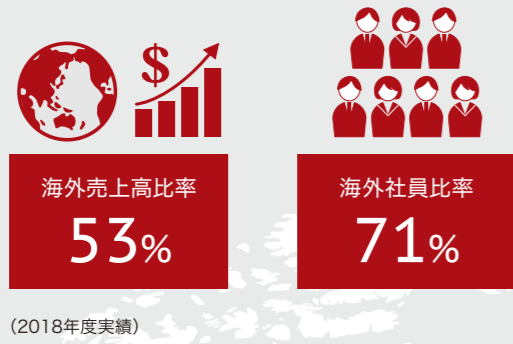
メーカーとして「製品品質」の向上はもちろんのこと、CSR活動により「経営品質」を高めていくことが必要不可欠だと考えております。

経営品質強化のため、グローバル人材マネジメント体制の確立や、企業変革を牽引する人材の育成・確保を積極的に実施するとともに、ライフワークバランス実現に向けた働き方改革や、多様な人材が活躍できるダイバーシティを推進しております。

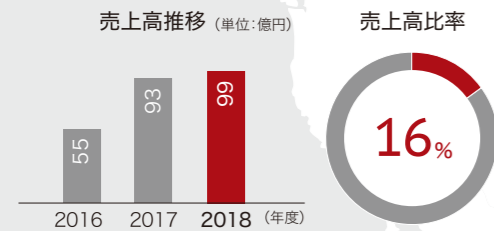
製品品質と経営品質の両輪を高めることで、「会社品質」の向上を図り、企業価値の最大化を目指してまいります。



Global Network



Americas



販売拠点: 4 生産拠点: 1
代理店: 200 従業員数: 212

- IDEC CORPORATION (米国)
- APEM Inc (米国)

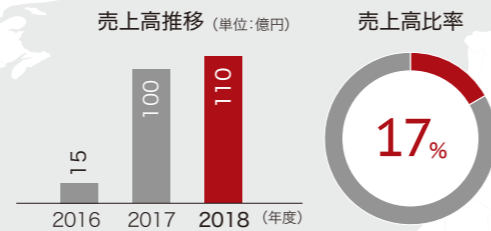


IDEC CORPORATION

販売 ● 開発 ● 生産 ●

EMEA

(欧州、中東、アフリカ)



販売拠点: 8 生産拠点: 8
代理店: 100 従業員数: 1,291

- APEM SAS (フランス)
- APEM Components Ltd (英国)
- MEC Aps (デンマーク)
- APEM Italia Srl (イタリア)
- APEM GmbH (ドイツ)
- APEM AB (スウェーデン)
- APEM Benelux (ベルギー)
- APEM BV (オランダ)
- SACEMA (チュニジア) 他1社



APEM SAS

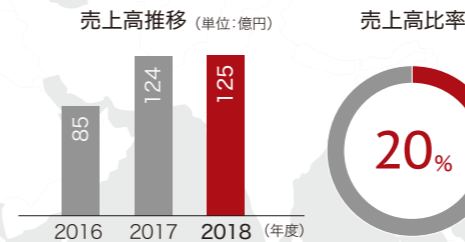
Greater China

販売拠点: 20 生産拠点: 5
代理店: 140 従業員数: 907

- 愛徳克電気貿易(上海)有限公司(中国)
- 和泉電気自動化制御(深圳)有限公司(中国)
- 和泉電気(北京)有限公司(中国)
- 台湾和泉電気股份有限公司(台湾)
- IDEC IZUMI (H.K.) CO., LTD.(香港)
- APEM Ltd.(中国)
- 太倉科奈徳電気有限公司(中国)
- 台湾科奈徳股份有限公司(台湾)
- APEM Wujin Electronics Co., Ltd(中国)
- 愛徳克電子科技(上海)有限公司(中国)
- 蘇州和泉電気有限公司(中国)
- 台湾愛徳克股份有限公司(台湾)



台湾愛徳克股份有限公司



※Greater ChinaとAsia Pacificの合計値です。

Asia Pacific

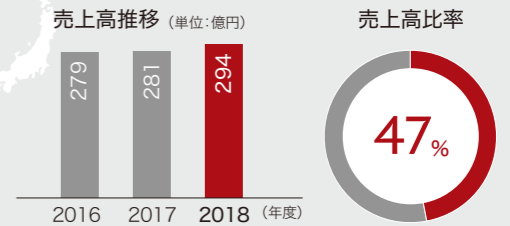
販売拠点: 3 生産拠点: 1
代理店: 40 従業員数: 173

- IDEC IZUMI ASIA PTE LTD.(シンガポール)
- IDEC Australia Pty. Ltd.(オーストラリア)
- IDEC ASIA (THAILAND) CO., LTD.(タイ)



IDEC ASIA (THAILAND) CO., LTD.

Japan



販売拠点: 35 生産拠点: 7
代理店: 100 従業員数: 1,071

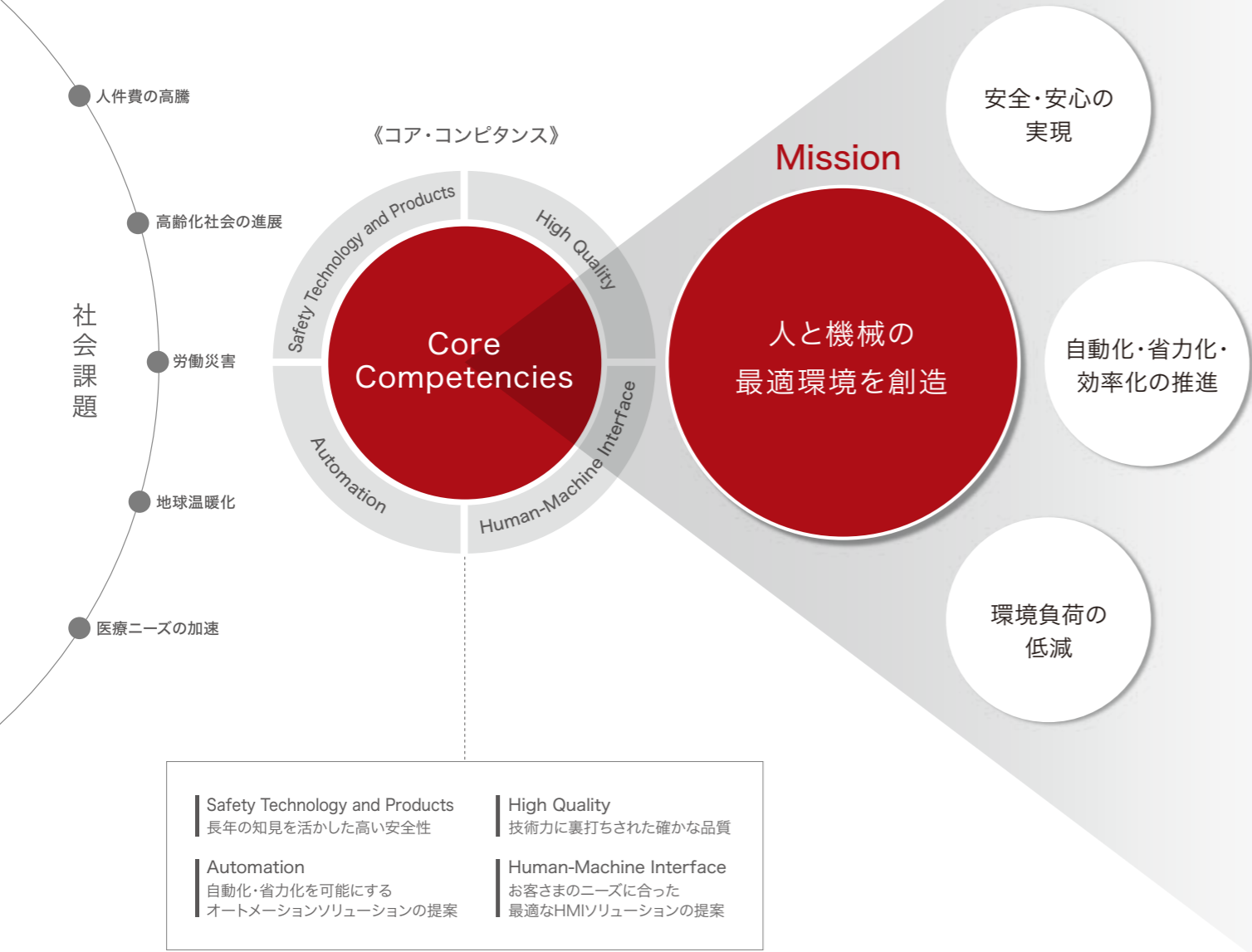
- IDEC株式会社
- IDECファクトリーソリューションズ株式会社
- 株式会社ウェルキャット
- IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
- IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社
- IDECロジスティクスサービス株式会社



IDEC株式会社(本社)

Value Creation Process

IDECは、「安全」「安心」を担う製品づくりで培われたコア技術をもとに、人と機械の最適環境の創造を支えながら、世界のものづくりの現場とくらしのシーンで、安全・安心の実現をはじめ、自動化・省力化・効率化の推進や環境負荷低減に貢献しています。



[経営の基盤にある社会的責任]



環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) に加え、IDEC の強みである安全 (Sa) と品質 (Q) を CSR 活動の重点分野と定め、社会的な課題解決に向き合うことで、SDGs に貢献しています。

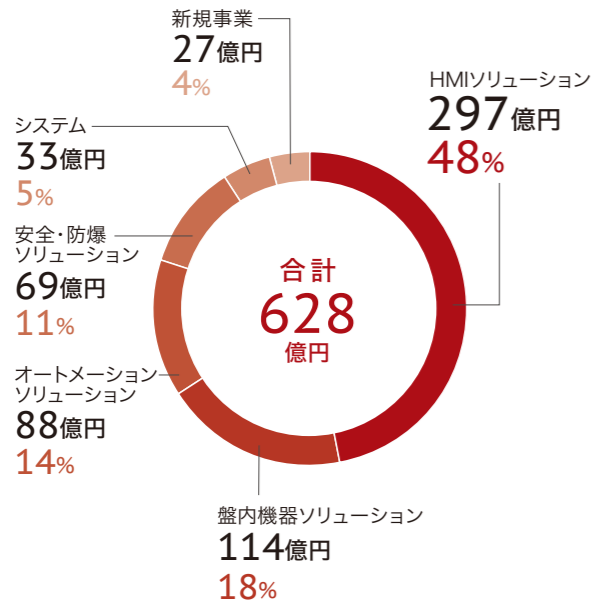
事業分野・主要製品	社会的価値・主要関連SDGs	売上高/前期比 (2018年度)
HMIソリューション <ul style="list-style-type: none"> 制御用操作スイッチ 非常停止用押ボタンスイッチ ジョイスティック プザー 表示灯 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性と使いやすさの追求 品質保証 	297億円 +5%
盤内機器ソリューション <ul style="list-style-type: none"> 制御用リレー/ソケット 端子台 スイッチング電源 サーキットプロテクタ 産業用LED照明 	<ul style="list-style-type: none"> 消費エネルギーの削減 用途や場面に最適な光の提供 	114億円 +1%
オートメーションソリューション <ul style="list-style-type: none"> プログラマブルコントローラ プログラマブル表示器 センサ (光電スイッチ/近接スイッチ) 自動認識機器 	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足への対応 医療機関における高度管理の実現 物流量増加に対する自動化への対応 多岐にわたる製造業のFA化への対応 	88億円 +7%
安全・防爆ソリューション <ul style="list-style-type: none"> 安全関連機器 防爆関連機器 	<ul style="list-style-type: none"> 産業事故の撲滅 国際標準化の推進 	69億円 +9%
システム <ul style="list-style-type: none"> セキュリティシステム 各種システム 	<ul style="list-style-type: none"> 制御機器・技術の組み合わせによる最適なシステムの構築 	33億円 +12%
新規事業 <ul style="list-style-type: none"> 環境・エネルギー関連事業 次世代農業ソリューション 協調安全ロボットシステム ウルトラファインパブル発生装置 	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギーの活用 再生可能エネルギーの普及促進 植物の健全・健康な成長の促進 グローバル社会での安全で快適な環境づくり 	27億円 -4%

Product Groups

時代のニーズに対応した、
最適な製品・ソリューションを
提供します。

IDECは、時代とともに変化する顧客ニーズにお応え
するため、制御技術を核とするさまざまな製品・
ソリューションに加え、コア技術を活用した新しい価
値を提供することで、ものづくりとくらしの未来を支
えています。

■2018年度 製品別売上高構成比



制御用操作スイッチ



制御用操作スイッチ



非常停止用押ボタンスイッチ



産業用スイッチ



キーボード



ジョイスティック



環境・エネルギー関連事業



協調安全ロボットシステム



次世代農業ソリューション

HMIソリューション
HMI Solutions
▶▶ P.13

新規事業
New Businesses
▶▶ P.21

安全・防爆ソリューション
Safety & Explosion Protection Solutions
▶▶ P.19

オートメーションソリューション
Automation Solutions
▶▶ P.17

盤内機器ソリューション
Panel Solutions
▶▶ P.15



制御用リレー



端子台



産業用LED照明



安全スイッチ

セーフティレーザスキャナ



防爆
コントロールボックス



防爆表示器ボックス



センサ



ティーチングペンダント



プログラマブル表示器



プログラマブルコントローラ

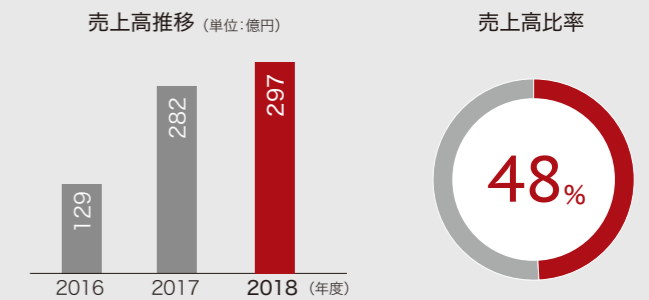
HMIソリューション

HMI Solutions



2018年度の事業概況

世界的な設備投資需要の増加などを背景に、米州や欧州を中心にAPEM社の売上が好調に推移しました。
またIDECにおいても、日本をはじめグローバルで制御用操作スイッチの売上が増加しました。



HMI分野のリーディングカンパニーとして、人と機械の最適環境を創造します。

創業以来培ってきた制御技術により、FA(ファクトリー・オートメーション)機器だけでなく生活の身近なシーンにおいても、革新的なソリューションをグローバルに提供し、「安全」「安心」な社会の実現に貢献しています。

2017年にフランスの産業用スイッチメーカーであるAPEM社がIDECグループに加わり、HMI(Human-Machine Interface)分野の製品ラインアップを拡充しました。IDECブランドに加え、デザイン性や耐環境性に優れたAPEMブランドの製品を販売展開することで、より幅広い業界のお客さまに多様な製品とソリューションを提案できるようになりました。

製品の品質や耐久性、安全性を追求するとともに、誰もが使いやすい、デザイン性にもこだわったラインアップを備えることで、IDECグループはHMIのグローバルNo.1カンパニーを目指し、人と機械をつなぐさまざまなソリューションをご提供してまいります。



活用シーン



各種装置や特殊車両などのスタイリッシュな操作パネル



高い安全性が求められる非常停止用押ボタンスイッチ

TOPICS

多様な人材が働く時代に最適な、安全・簡単に使用できる Push-inタイプのΦ22コントロールユニットを新発売 (2019年7月発売予定)

グローバル市場では、省配線・省スペース・信頼性の観点から、制御用操作スイッチをはじめとする各種製品において、新しい配線方式であるPush-in式の採用が進んでいます。

IDECは、主力機種であるΦ22コントロールユニットのPush-inタイプを新たに開発します。働く人材の多様化が進む現場で、誰でも簡単に「安定した品質」で作業でき、配線や増し締め工数の削減につながる製品を提供します。



HWシリーズ・CWシリーズコントロールユニット



電線を差し込むだけで簡単に配線でき、マイナスドライバーの差し込みで電線の取り外しが可能

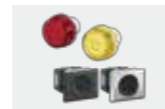
制御用操作スイッチ



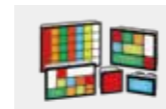
非常停止用
押ボタンスイッチ



ブザー



表示灯



ジョイスティック



キーボード



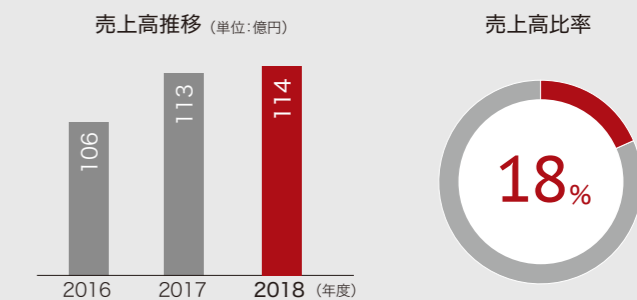
盤内機器ソリューション

Panel Solutions



2018年度の事業概況

アジア・パシフィックにおいては、制御用リレーや端子台が好調に推移しました。また、日本および米州においては、制御用リレーが堅調に推移しました。



盤内機器の幅広いラインアップで、お客さまの課題を解決します。

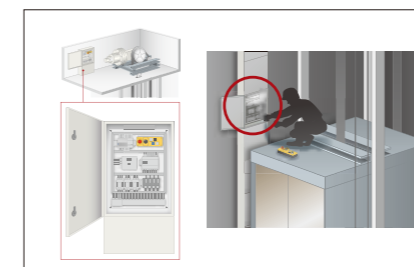
盤内機器は、機械や生産ラインを制御・操作するために使われる、制御盤やコントロールボックスの内部に組み込まれる各種電気機器の総称です。産業現場はもちろんのこと、ビルの設備管理やエレベータの制御など、幅広いシーンで使用されています。

近年、装置や設備の省スペース化やコストダウンへのニーズが高まっていることから、制御盤の小形化に注目が集まっています。IDECでは、制御盤内の省スペース化や作業効率の向上を実現する幅広い製品をラインアップしています。

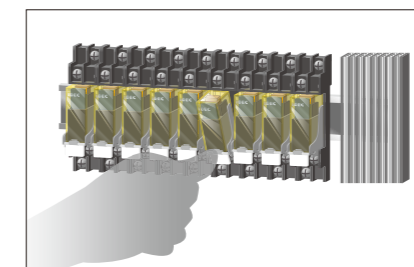
電気信号のOn/Offを切り替える制御用リレーや、定格容量以上の電流が流れた時に回路を保護するサーキットプロテクタ、商用電源の交流から安定した直流電圧に変換するスイッチング電源、工作機械や制御盤の中に設置し対象物を均一にクリアに映し出すLED照明など、盤内機器の豊富な製品バリエーションにより、さまざまな課題解決をサポートしています。



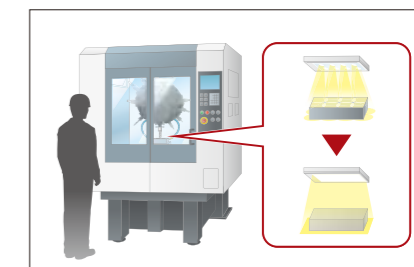
活用シーン



エレベータなどの制御盤



制御盤内の省スペース化を実現する製品



装置内に設置するLED照明

TOPICS

「効率化」をテーマに、革新的な接続ソリューションを提供するPush-in式端子台

働く人財の多様化が進む現在、省スペース・省工数の実現に加え、誰でも簡単に「安定した品質」で作業できることが求められています。そこで、従来のねじ式よりも薄形で制御盤内のスペースを有効活用でき、高い安全性を保ちながら、配線や稼働後の点検作業を大幅に削減できる、幅広いラインアップのPush-in式端子台を提供します。

IDECは、2019年にワイドミュラー社とパートナーシップ契約を締結し、Klippon® Connect端子台の日本での販売を開始します。

※Klippon®はWeidmüller Interface GmbH & Co. KGの商標です。



Innovation by



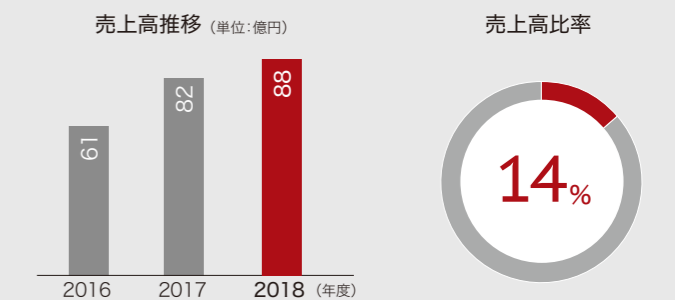
オートメーションソリューション

Automation Solutions



2018年度の事業概況

日本においては、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器の売上が伸長しました。また、株式会社ウェルキャットの業績寄与もあり、自動認識機器製品の売上も増加しました。米州においては、プログラマブルコントローラが堅調に推移しました。



IoTやIndustry4.0時代に 最適なソリューションを提供し、 Connected Industriesの実現を目指します。

IoTが産業現場やくらしのさまざまなシーンへ広がりを見せる中、遠隔監視・操作への対応が求められています。また、労働人口の減少や技術の進展に伴い、作業の高効率化や自動化推進のキーデバイスとなる製品の需要も高まっていることから、多種多様な製品をラインアップしています。2017年には、バーコードリーダなど自動認識機器の分野において高い技術力を持つ株式会社ウェルキャットをグループ化し、製品ラインアップの拡充と販路の拡大を図っています。

機械設備や生産ラインを制御するプログラマブルコントローラや、快適な操作環境を実現するプログラマブル表示器、状態の変化や物体を検出するセンサ、トレーサビリティ用途での需要が拡大するコードリーダ、RFIDなどの幅広いソリューションを提供することで、生産の自動化・効率化に貢献しています。



活用シーン



遠隔監視・操作を実現するプログラマブルコントローラやプログラマブル表示器

作業効率を向上させるウェアラブル端末

TOPICS

堅牢性とレーザの視認性に優れたサブミリメートル表示の距離判別センサ

堅牢・耐環境アンブ内蔵型CMOSレーザセンサSA1Q形を2018年12月に発売しました。ステンレス製ハウジング採用による耐衝撃・耐振動性能を有し、保護構造IP67/IP68/IP69K*を実現するとともに、受光素子にCMOSラインセンサを採用することで、対象物と背景の色に影響を受けにくく、距離判別、高さ判別が可能です。距離と明暗を合わせて判別するデュアルモードを搭載し、透明体の安定検出も可能です。

IoTのキーテクノロジーとなるIO-Linkの対応品もラインアップし、IoT化の実現に貢献します。

*IP規格とは、電気機器内への異物の侵入に対する保護の等級を定めている防塵・防水の規格です。



※ロボットの動作を記録・再生させて、動作させるための装置

安全・防爆ソリューション

Safety & Explosion Protection Solutions

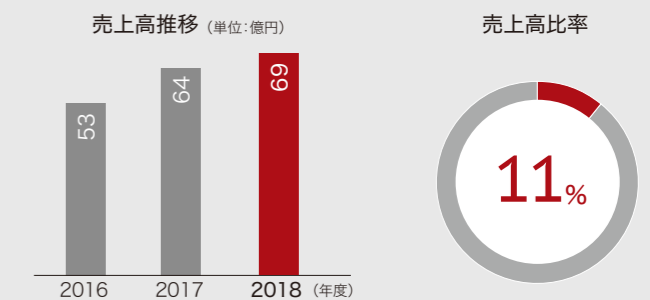


2018年度の事業概況

安全に対する関心の高まりから、安全関連機器の売上はグローバルで堅調に推移するとともに、2018年7月にグループ化した株式会社東京センサの売上も寄与しました。

防爆関連機器については、主に日本において売上が伸びました。

※東京センサは2019年4月にIDECに吸収合併しました。



安全のリーディングカンパニーとして、生産性と安全性向上に役立つソリューションを提供します。

IDECは創業以来、人と機械の安全な環境を考え、安全性、信頼性、使いやすさに徹底的にこだわった安全関連機器を開発し、生産性と安全性を向上させる安全ソリューションを展開しています。生産現場での自動化やロボット活用が拡大する中、人と機械の協調安全を志向する次世代の安全安心思想「協調安全(Safety2.0)」の考え方に立ち、人が危険を回避するだけでなく、機械も人の危険を察知して安全を制御することができる協調的な安全機器アプリケーションをご提案します。同時に、新たな規格づくりや、安全コンサル

ティングといった安全の普及活動にも力を入れています。作業エリアや安全柵内で人の存在や侵入を検知するセーフティレーザスキャナ、装置扉や安全柵のドアの開閉を検知する安全スイッチ、国際安全規格に準拠したイネーブル装置など、何よりも安全に配慮したトータルな環境提案を通して、国際規格に適合した各種機械装置の安全構築をサポートし、Vision Zero※を推進していきます。

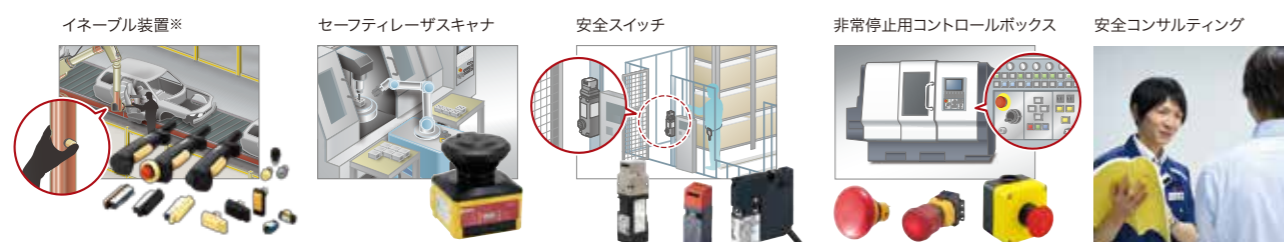
※Vision Zeroについては、P.24をご参照ください。

国際防爆規格に準拠した最新技術で防爆環境下での安全、安心を実現します。

70年以上にわたる防爆技術の研究開発に基づき、FA化や国際化などの社会の変化に即しながら、爆発性ガスを扱う石油プラントや化学工場、倉庫などで使用できる多様な防爆関連機器を開発し、お客さまのニーズに応じてきました。

コントロールボックスは、レイアウトやサイズ、操作性といった細かいご要望にお応えするとともに、国際IECExシステム、欧州防爆指令、北米ULなど海外での防爆認証取得を推進し、グローバルに対応できる製品をラインアップしています。

LED照明は水銀灯に代わる製品として、高天井やタンク内透視用など豊富な種類を揃えており、省エネルギー・省メンテナンスに加え、環境負荷低減のニーズにお応えします。また、プラント内などの監視に最適なネットワークカメラシステムは、無線LANによるワイヤレス化で設置場所の自由度も高く、遠隔操作によるモニタリングを可能にし、防爆環境における安全性の向上とともに、省人化や効率化の向上にも貢献しています。



※ロボットや工作機械のティーチングペンダントなどに組み込まれる安全機器



※過電流が生じた際に、危険場所へ流れる電圧、電流を制限する装置

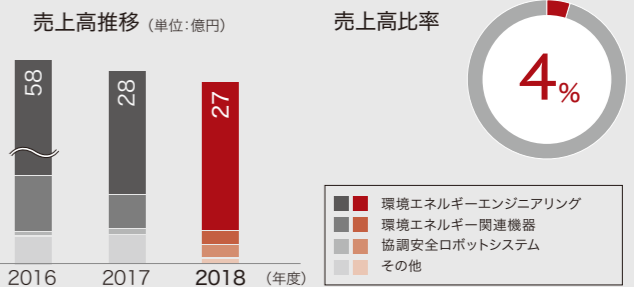
新規事業

New Businesses



2018年度の事業概況

環境エネルギーEPC^{*}・売電については、メガソーラー売電向けから、今後市場拡大が見込まれる自家消費太陽光発電、およびエネルギー・マネジメント・システム(エネマネ)に徐々に移行しています。協調安全ロボットシステムのソリューション事業については、生産設備の自動化ニーズの高まりなどにより、導入事例が増加しています。
※Engineering, Procurement, Construction の略称



制御技術を活用した多様なソリューションで、社会課題の解決に貢献します。

グループ会社であるIDECファクトリーソリューションズ株式会社では、ロボットシステムインテグレータとして、人とロボットが協働する、協調安全ロボットシステム事業を展開しています。近年産業現場では、人手不足への対応や生産性・効率性向上のために、安全柵なしで人と同じ現場で働くことのできる協働ロボットの導入が急速に進んでいます。

そこで、IDECの強みである安全関連機器や安全システムを軸に、各種メーカーの協働ロボットやビジョンセンサ、

人工知能(AI)、無人搬送車(AGV)などを組み合わせたシステムをご提案するとともに、多様なアプリケーションパッケージをご用意することで、顧客ニーズにマッチした最適な協調安全ロボットシステムを提供しています。

また、メガソーラーをはじめとする再生可能エネルギーや次世代農業ソリューションの普及に向けた取り組みなど、長年培ってきた制御技術、環境技術、ファインパブル技術を活かすことで、グローバルレベルで進行するさまざまな社会課題の解決に貢献しています。

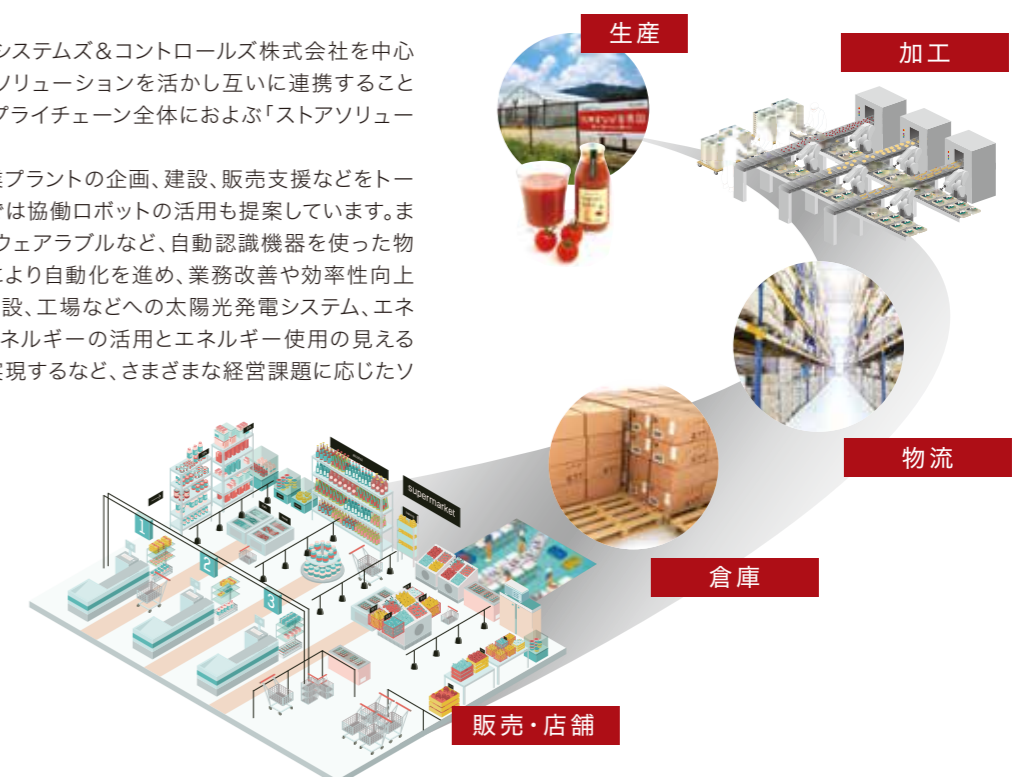


TOPICS

ESG対応のパートナーとして、ストアソリューションを展開

グループ会社である、IDECシステムズ&コントロールズ株式会社を中心に、各社が持つ多様な製品やソリューションを活かし互いに連携することで、生産、物流、店舗までのサプライチェーン全体におよぶ「ストアソリューション」をご提供しています。

生産、加工では、次世代農業プラントの企画、建設、販売支援などをトータルに提供し、食品加工現場では協働ロボットの活用も提案しています。また、バーコードリーダー/RFID/ウェアラブルなど、自動認識機器を使った物流・店舗管理システムの提案により自動化を進め、業務改善や効率性向上を図るとともに、店舗や物流施設、工場などへの太陽光発電システム、エネマネを導入することで、自然エネルギーの活用とエネルギー使用の見える化・効率化による経費削減を実現するなど、さまざまな経営課題に応じたソリューションを提案しています。



「人と機械の最適環境の創造」により、 世界一安全・安心を追究・実現する 企業を目指します。



近年、ものづくりをはじめとする社会環境が大きく変わろうとしています。こういった背景を踏まえ、グローバルで課題となっているさまざまな社会ニーズに対して、IDECの強みである安全・安心技術や知見を活かし、従来の「安全」に「安心」をプラスするANSHINビジネスを推進することで、企業価値のさらなる向上を推進しています。



Safety Concept

協調安全(Safety2.0)のリーディングカンパニー

人とモノと環境が協調することで、人と機械の共存領域の安全を高く保ち、生産性と安全性の両立を実現する、次世代の安全安心思想「協調安全(Safety2.0)」の追求により、ロボット革命、Connected Industriesの実現を目指しています。

各種安全関連機器の開発や提案はもちろんのこと、リスクアセスメントの実施、安全のプロフェッショナル人材としてのセーフティエバンジェリストの育成、各種セミナーの開催に加え、Safety2.0の国際標準化活動の推進にも力を入れています。



Vision Zeroによる労働安全衛生の推進

Vision Zeroは、SDGsを推進する国連のILO(国際労働機関)傘下のISSA(国際社会保障協会)が推進する労働安全衛生のコンセプトで、トップマネジメントが主導し、企業における安全・健康・幸福を追求するアプローチです。2018年1月に、IDECは日本企業で初めてVision Zeroに登録しました。

Vision Zero推進活動の一環として、主力工場の一つである滝野事業所において、2019年3月に中央労働災害防止協会(中災防)から労働安全衛生マネジメントシステムISO45001の認証を、中災防のISO45001認証としては日本の電機業界で初めて取得しました。リスク情報の収集やリスクアセスメントなどを実施することで、安全で働きやすい職場環境づくりを行っています。

A Company of
VISION ZERO
Safety.Health.Wellbeing.



Safety Integration

最適な協調安全ロボットシステムの提案

愛知県と東京都に「協調安全ロボットテクニカルセンター」を設置し、国内外の協働ロボットを展示しています。最適な協働ロボットとIDECの各種安全関連機器を組み合わせることで、「人×協働ロボット」を実現し、安心してロボットと接することができるシステム化を目指しています。

ロボット・セーフティアセッサ資格者による安全なシステム構築方策の提案、安全コンサルティングなどを通じて、ものづくり現場の生産性向上と労働災害の削減を実現します。



協調安全ロボットテクニカルセンター(愛知県)

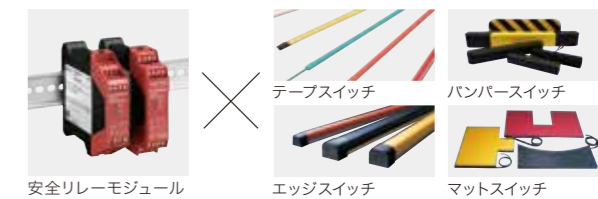
Safety Components

安全・安心を実現する機器の開発

2018年にIDECグループに加わった接触センサの国内主力メーカーである株式会社東京センサとともに、IDECが持つ安全や防爆に関する知見を活かし、各種製品の認証取得を積極的に推進しており、2019年に世界初となる防爆マットスイッチを発売する予定です。

安全・安心を実現する機器の拡充・強化を推進することで、ANSHINビジネスのさらなる拡大と新たな市場の創出を推進しています。

※東京センサは2019年4月にIDECに吸収合併しました。



2018.4 ▶ 2019.3 TOPICS

2018年4月～2019年3月の主なトピックス

2018 4 ウェルキャット製品の販売開始

2017年にグループ化した、株式会社ウェルキャットの自動認識機器製品の国内販売を開始しました。IDECの販路を活用することで、自動認識機器の需要が拡大する物流やリテール、FA業界における情報の「見える化」や、業務の「効率化」に貢献します。

welcat
an IDEC company



2018 4 CSR委員会設立



6月 創業者「船木恒雄」お別れの会開催

2018 4 高天井用LED照明 LG1H-300シリーズ発売

高天井用LED照明は、工場や倉庫などに最適な製品です。明るさを調整できる調光機能を標準搭載し、従来製品よりも発光効率を向上させたことで省エネを実現しました。軽量設計により天井など建造物への負担を軽減し、施工性も向上しました。



2018 5 イオナイザ「SC1P形」発売

静電気を除去するイオナイザは、半導体や電子部品、食品・包装業界の工程において、静電気による異物の付着や部品の破損を防ぎ、品質改善と歩留り向上に貢献します。クラス最高レベルの高速除電を実現したワイドタイプと、コンパクトタイプをラインアップしています。



ワイドタイプ

コンパクトタイプ

7 7月 株式会社東京センサをグループ化



7月 株式会社東京センサをグループ化

2018 9 照光ブザー「HW1Z形」に非照光タイプを追加

2017年に発売した、ブザーと表示灯の機能を一体化した国内初のφ22照光ブザーに、新しく非照光タイプを追加しました。FA業界はもちろんのこと、エレベータや駅のホーム等の幅広いシーンで、装置やパネルの小形化・省スペース化、配線工数の削減を可能にします。

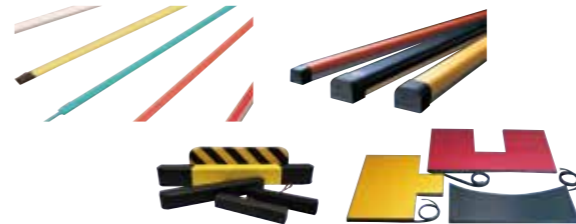


(写真左・中央)照光タイプ (写真右)非照光タイプ

2018 11 東京センサ製品の販売開始

幅広い用途に使用されるテープスイッチや、衝突検知が可能なバンパースイッチ等、東京センサ製品の国内販売を開始しました。安全関連機器のラインアップ拡充により、多様なニーズに対応することが可能となりました。

※東京センサは2019年4月にIDECに吸収合併しました。



10 8月 CSR調達説明会開催



8月 CSR調達説明会開催

2018 12 CMOSレーザーセンサ「SA1Q形」発売

優れた堅牢性と耐環境性を実現し、自動車、半導体、工作機械など幅広い分野において、高精度で安定した検出を実現する距離判別センサです。IoTのキーテクノロジーとなるIO-Link対応機種は、プログラマブルコントローラと接続することで、故障する前に不具合を通知する「予知保全」を実現し、生産ロスの削減に貢献します。



2019 2 ソレノイド付安全スイッチ「HS1T形」発売

ロック強度5,000Nでは、世界最小クラスを実現した安全スイッチです。工作機械の正面扉や、産業用ロボットが稼働する危険エリアにある安全柵の扉部分などに設置し、扉の開閉検出を行います。産業事故を防止するための安全対策に貢献します。



2019 1 11月 Electronica Show 2018出展 (ドイツ・ミュンヘン)



11月 Electronica Show 2018出展 (ドイツ・ミュンヘン)

2019 2 3月 独・ワイドミュラー社とパートナーシップ契約を締結



3月 独・ワイドミュラー社とパートナーシップ契約を締結

2019 3 ティーチングペンダント「HG1P形」発売

軽量構造ながら、高解像度の4.3インチディスプレイを搭載するとともに、人間工学に基づいたデザインを採用することで使いやすく長時間作業の負担を軽減します。また、落下耐性1.5mの堅牢性も兼ね備えており、多様化する生産現場に対応した製品です。



プログラマブル表示器「HG5G-V形」発売

15インチの大画面を搭載したHG5G-V形を発売し、コンパクトタイプからハイパフォーマンスタイプまでの幅広いプログラマブル表示器をラインアップしています。ハイパフォーマンスタイプには、高解像度ディスプレイや大容量メモリを搭載することで、情報量の増える現場のIoT化をサポートします。



経営と一体となったCSR活動

私たちは、創業の理念である「人間性尊重経営」を最も重要な基盤として、IDECグループを取り巻く全ての皆さま（社員、お客さま、株主・投資家、取引先、国際社会・地域）の幸せを最大化することを大切に、CSR憲章を制定しています。これを推進するための取り組みがCSR活動であり、経営の重要課題と位置づけてCSRマネジメント体制を構築しています。

世界に目を向けると、地球温暖化、自然災害など社会課題が山積しています。IDECグループは強みを持つ安全分野

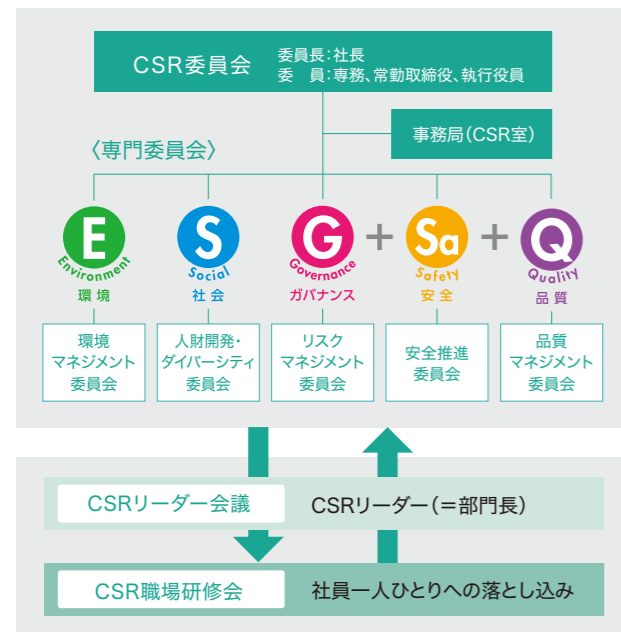
を土台に、事業を通じた社会課題の解決に積極的に取り組み、「世界一安全・安心を追究し、実現する企業」として、社会的責任を果たしてまいります。



推進体制

CSR委員会

IDECグループのCSR活動方針を策定する機関として「CSR委員会」を設置しています。委員長は社長とし、専務・常勤取締役・執行役員で構成しています。CSR委員会の傘下には、「環境」「社会」「ガバナンス」に、私たちの強みである「安全:Safety」「品質:Quality」を加えた「ESG+Sa+Q」の5つの分野の専門委員会を設けています。各専門委員会の委員長は執行役員とし、専門知識や経験を持ったメンバーで構成しており、それぞれのテーマに即した施策に取り組んでいます。CSR委員会は年2回開催し（2018年度は5月、10月）、CSR活動全般および各専門委員会の取り組みについて審議・承認しています。



活発な議論が行われた第2回CSR委員会 (2018年10月25日)

CSRリーダー会議

各部門の責任者をCSRリーダーに任命しています。CSRリーダー会議は年2回開催しており、CSR委員会で議論された内容を共有・推進しています。また、CSRリーダーは、それぞれの部門におけるCSRに関する課題・提案を吸い上げる役割を担っています。

CSR職場研修会

CSRリーダー会議の内容は、CSRリーダーが各管轄部門へ持ち帰り、研修会を開催し、全ての社員へ展開しています。2018年度はこのCSR職場研修会を45部門で延べ213回実施しました。



CSRリーダー会議内容の共有とCSR活動に関する意見交換

IDECグループCSRガイドブック

IDECグループのCSRに対する考え方、取り組みをわかりやすくまとめました。社員一人ひとりが、CSRへの理解を深め、社会課題に向き合い行動するためのガイドとして活用しています。



多言語に対応

SDGsへの貢献

IDECグループはSDGs*をCSRの重要な目標と捉え、事業を通じてSDGsの達成に積極的に取り組んでいます。また、社会課題に真摯に向き合う企業風土の醸成に向けて社員一人ひとりの意識を高めることに努めています。

認識	社内セミナーにてSDGsを紹介
理解を深め自分事化	SDGsワークショップを部門別に開催、また新入社員・階層別研修でも開催
SDGsへの取り組みを社内外に表明	ホームページ、IDEC Reportなどを通じ、トップメッセージ・事業ごとに関連するSDGs・社内浸透活動などを説明・紹介
社員一人ひとりへの浸透	CSR啓発DVDを視聴、「IDECグループCSRガイドブック」を配布、全社員が理解を深める
2019年度～ IDECグループへ取り組みを拡大・浸透	

*SDGsとは、2015年9月、国連本部において採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)です。

国連グローバル・コンパクト

2009年2月に「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」に加盟し、UNGC10原則を支持するとともに国際社会に貢献することを表明しています。



SDGsワークショップ

SDGsへの理解を深め、事業を通じて社会課題を解決する糸口を見つける機会として、2017年10月よりSDGsワークショップを開催し、全部門で実施してきました。出席者は、新入社員から執行役員



員まで延べ373名となり、出てきたさまざまなアイデアは提案書にまとめCSR委員会の議論の参考としています。

社会課題起点でアイデアを出し合うSDGsワークショップ

世界を変えるための17の目標

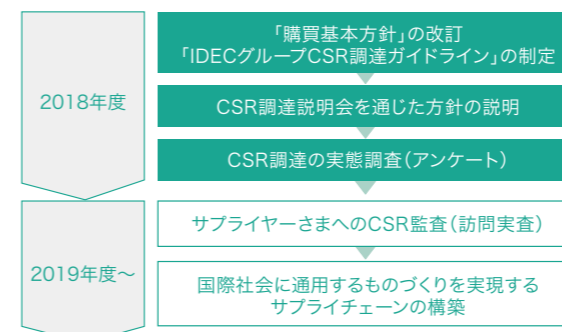


サプライチェーン全体で取り組むCSR

ものづくりのグローバル化に伴い、サプライチェーンもまたグローバル全体に広がっている中、IDECグループでは国際規範に準拠した確固たるサプライチェーンの構築を目指しています。

そのために、公正かつ健全な事業環境の中で、ともに成長できる信頼関係づくりを目指す取り組みとして、サプライヤーさまとともにCSR調達を推進しています。

CSR調達の前提として、良きパートナーとして共存共栄を実現するため、「グローバル」「公正・公平」「グリーン調達」に、新たに「CSR調達」を加えた4項目からなる「購買基本方針」を掲げています。



CSR調達ガイドライン

2018年8月、CSR調達に関する考え方を具体的に示すため、「IDECグループCSR調達ガイドライン」を制定しました。労働・安全衛生・環境・倫理・製品安全・管理体制の項目を明記しています。



多言語に対応

CSR調達説明会

2018年8月7日、主要サプライヤーさま50社を本社に招き、CSR調達説明会を開催しました。初めに、社長がCSR調達の重要性を述べ、サプライヤーさまの理解と協力を呼びかけました。続いて、人財戦略・CSR担当執行役員からIDECグループのCSRへの取り組みについて、生産・SCM担当執行役員からグローバルサプライチェーンについて説明し、購買責任者からは、購買基本方針と今回新しく制定した「IDECグループCSR調達ガイドライン」を解説しました。

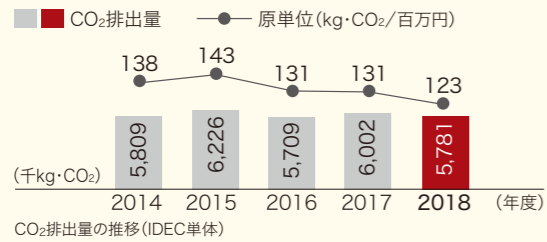
CSR Topics

Webサイトでの情報開示
http://jp.idec.com/ja/csr
IDECグループの詳細なCSR情報はWebサイトよりご覧いただけます。



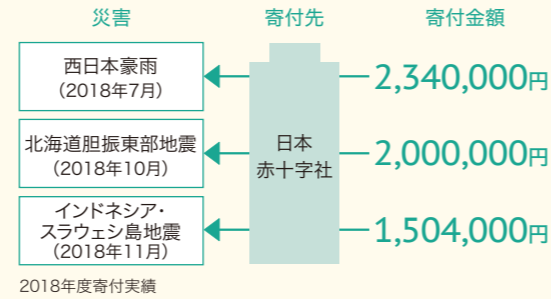
Environment CO₂排出量削減

オフィスでは節電や、省エネ機器への切り替えなどを積極的に行っています。関西圏に太陽光発電所を設けているほか、2019年3月には兵庫県に新設する施設の屋根に太陽光発電パネルを取り付けるなど、自然エネルギーを利用した電力の自家消費によるCO₂削減に努め、地球温暖化防止への貢献を目指しています。またIDEC CORPORATION(USA)では、2008年よりオフィスの屋上に太陽光発電パネルを設置し、2018年にLED照明をオフィス全体に導入したほか、エアコンは気流や日射の影響を調整しオフィス内の室温を均一化して空調効率を上げる製品に切り替えるなど、省エネ推進によるCO₂削減に取り組んでいます。



Social 災害時支援

近年、国内外で大規模な自然災害が発生し甚大な被害が出ています。IDECグループでは、社員一人ひとりが大規模災害が発生した際に自分事として捉え行動できるよう、社員へ寄付活動の呼びかけを行っています。会社からの寄付に加え、社員からの寄付と同額を上乗せして寄付する「マッチングギフト制度」を取り入れています。また、会社と社員からの寄付を速やかに被災地へ届け、支援に役立てていただくため、2017年に義援金拠出ルールを策定し、継続的な寄付活動を行っています。



Governance ガバナンス強化に向けた施策を拡充

外部から弁護士や公認会計士をお招きし、社外取締役とガバナンスなどに関する活発な意見交換を行う場を設けています。また、マネジメント層がコーポレートガバナンスの重要性を認識し意識徹底するよう、弁護士でもある金井社外取締役による講義を開催し、執行役員・部門長・グループ会社の責任者56名が出席しました。



IDEC本社で開催したコーポレートガバナンス・コンプライアンス講義 (2018年10月31日)

Quality グローバル品質保証体制の強化

IDECグループでは品質最優先の方針のもと、毎月定例の品質会議の中で国内外のものづくりに関わる部門が相互連携し品質管理に取り組んでいます。さらに2017年度からは、日本および台湾・タイ・中国など各生産拠点から担当者が一堂に会し、グローバル品質保証体制の強化を議論し情報交換する「グローバル品質会議」を開催しています。同会議では拡大するグローバル市場に向けて、グループが目指すべき品質マネジメント力向上を図るため、課題やノウハウを共有し合い、議論を行っています。



台湾で開催した第2回グローバル品質会議 (2018年12月6日～7日)

Environment 社員向け環境教育・啓発活動の推進

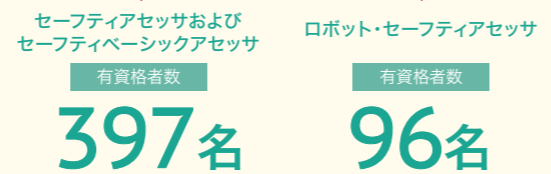
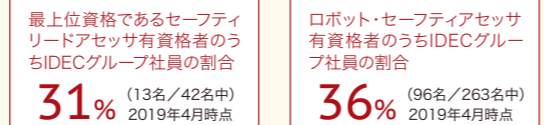
環境マネジメント委員会は、管理・事業部門問わず10部門以上からメンバーが参加し、部門横断で環境活動を推進しています。社内への啓発・社外への情報発信・グリーン調達・環境配慮型製品の開発などについて、さまざまな視点と強みを持つメンバーで議論し企画、実施しています。グローバルな環境活動推進のため、環境啓発ポスターの国内外拠点での掲示を開始しました。

冷暖房の省エネを推奨する社内啓発ポスター



Sa Safety セーフティアセッサ資格者の育成

国際安全規格等を正しく理解できる人材を育成し、安全な製品の開発やユーザーへの安全の訴求、コンサルティングを通して、人と機械・ロボットが協働する「協調安全」に代表される安全かつ生産性の高いものづくり環境を実現するため、IDECグループではセーフティアセッサ資格や2018年に新設されたロボット安全資格である「ロボット・セーフティアセッサ資格」の取得を社員に積極的に奨励しています。



※セーフティアセッサ資格とは経済産業省の基準認証事業で(一社)日本電気制御機器工業会が開発し、日本認証(株)が実施しているグローバルに通用する機械・制御・防爆安全に関する安全技術者や管理者を育成する資格認証制度です。

Social 健康への取り組み

社員が心身ともに健康で生き生きと働ける職場づくりを目的とし、2018年4月にIDECヘルスケアセンターを開設しました。非常勤の産業医と常勤の保健師が従事し、社員からのメンタルを含む健康相談や健康・食育セミナーの開催など、社員が利用しやすく、心身ともに健康であるための取り組みを推進しています。これらの活動が認められ、経済産業省の「健康経営優良法人2019(ホワイト500)」にも認定されました。2019年6月、本社構内にフィットネスジムを備えた厚生棟が完成しました。さまざまなトレーニングマシンに加えてボルダリング用の壁も設置するなど、社員が気軽に運動できる環境を整えました。厚生棟を活用し、今後もよりいっそう社員の健康増進に取り組んでいきます。



IDEC株式会社が「ホワイト500」の認定を取得 (2019年2月)

CSR月間を実施

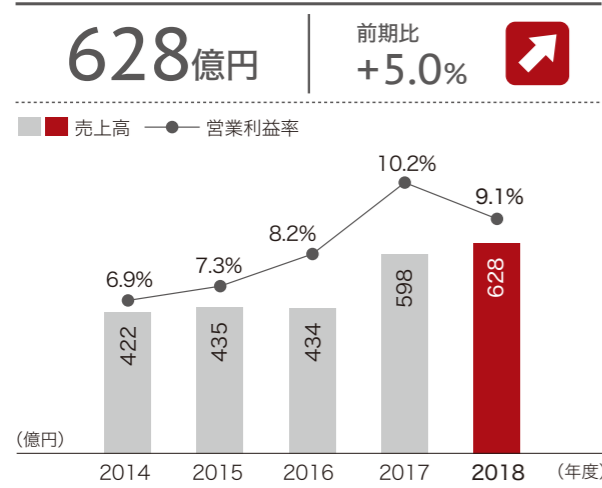
「CSRは社員一人ひとりが取り組むもの」というIDECグループの基本的な考え方の理解を深め、実際に行動に移せるよう、10月を新たに「CSR月間」と定め、さまざまなCSR活動を実施しました。CSRの最新動向とIDECグループの取り組みを網羅的に学べる「CSRガイドブック」の発行および全社員への配布を行い、CSR職場研修会で活用するなど、社員がCSRについて意識し行動できるさまざまな企画を実施しました。

- 本社食堂でTABLE FOR TWOメニューを提供
- 環境省の気候変動キャンペーン「Fun to Share」への宣言文募集
- CSR映画上映会開催

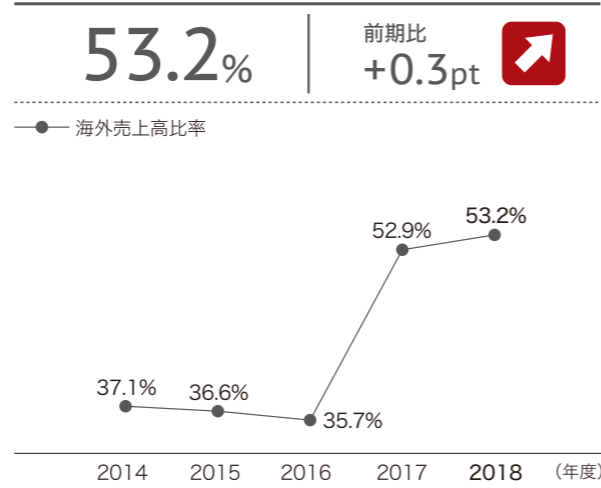


本社食堂でTABLE FOR TWOメニューの提供を開始 (2018年10月～)

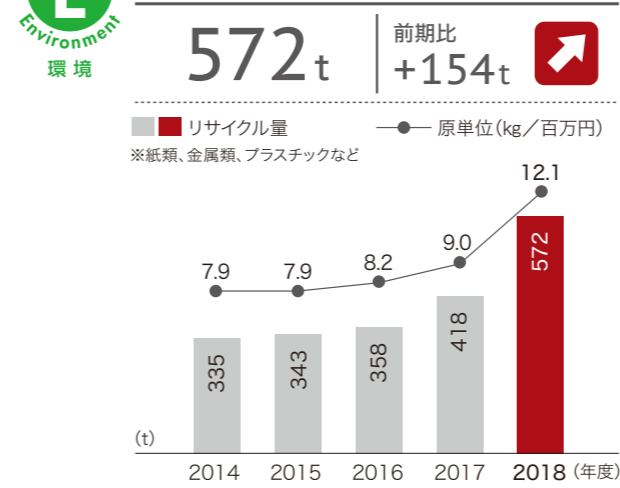
売上高



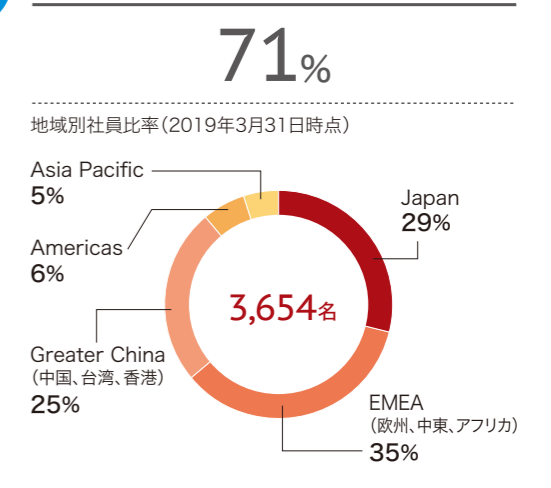
海外売上高比率



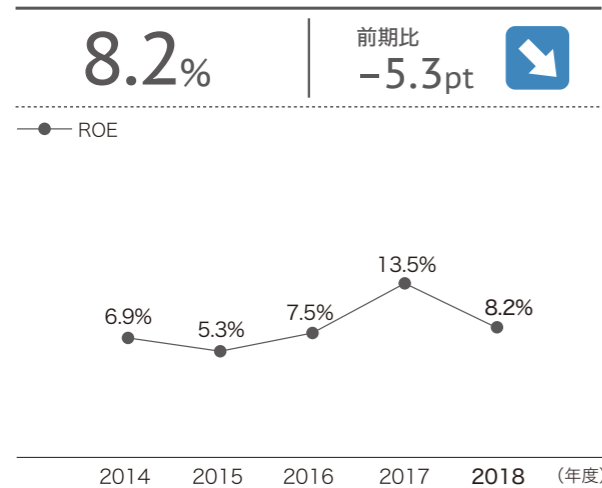
リサイクル量 (IDEC単体)



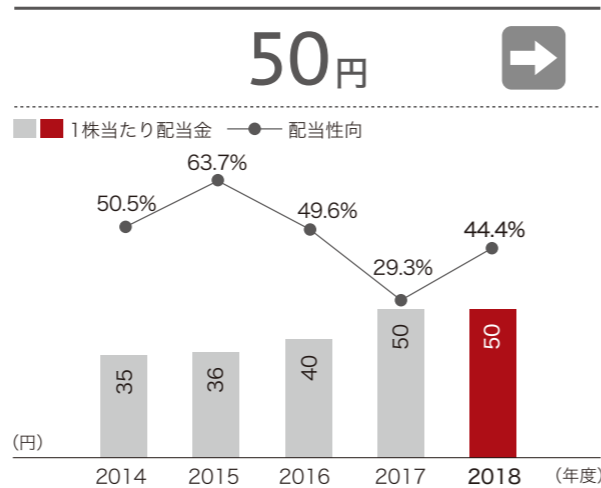
海外社員比率



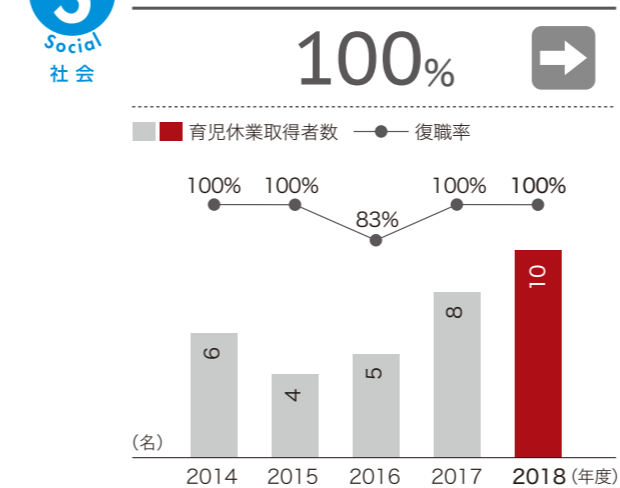
ROE



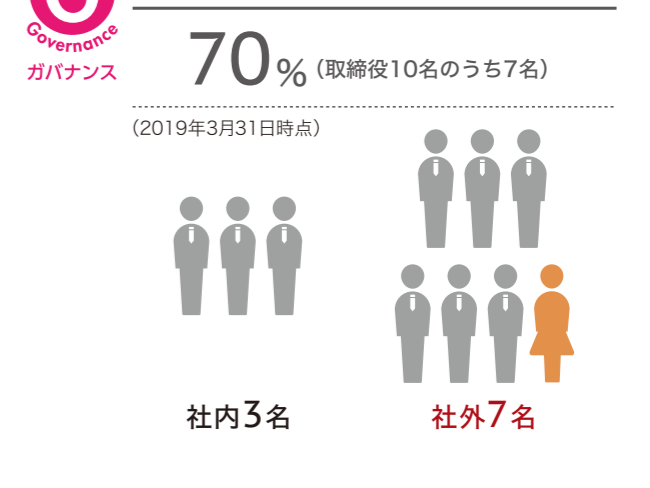
1株当たり配当金



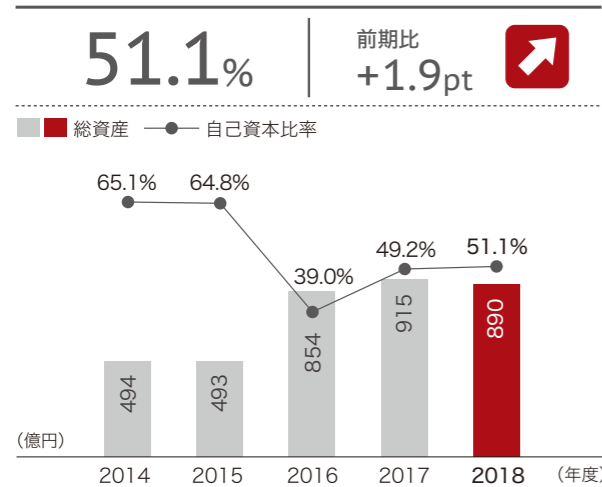
育児休業後の復職率 (IDEC単体)



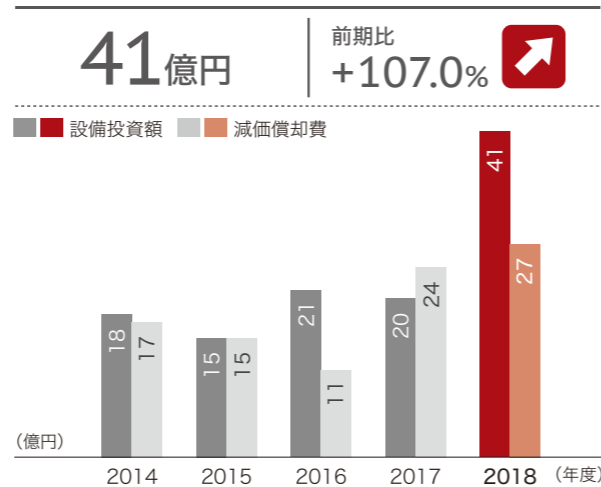
社外取締役比率 (IDEC単体)



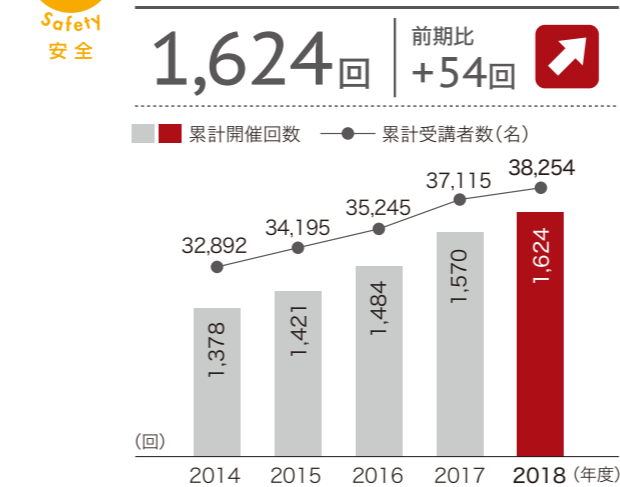
自己資本比率



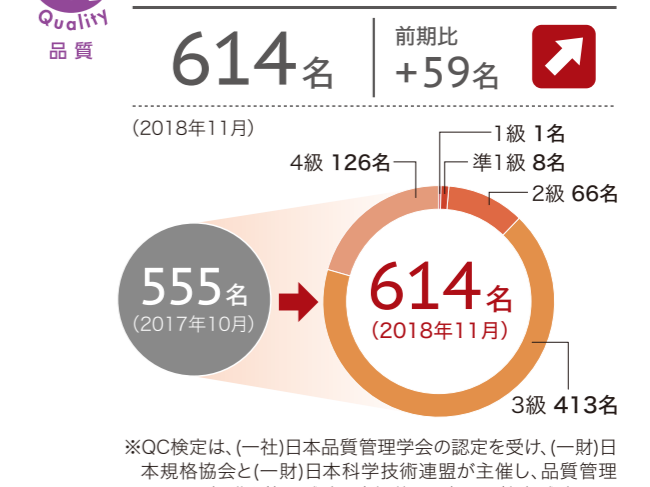
設備投資額



安全セミナー・防爆セミナーの
累計開催回数 (IDEC単体)



品質管理検定 (QC検定) の
級保持者数



取締役



船木 俊之
代表取締役会長兼社長



八田 信男
社外取締役



山本 卓二
社外取締役



船木 幹雄
代表取締役専務



小林 浩
社外取締役

取締役(監査等委員)



藤田 慶二郎
取締役(監査等委員)



谷口 弘一
社外取締役(監査等委員)



阪本 政敬
社外取締役(監査等委員)



川人 正孝
社外取締役(監査等委員)



金井 美智子
社外取締役(監査等委員)

健全かつ透明性の高い、効率的な経営の実現を目指しています。



執行役員

赤松 浩二
執行役員
生産・SCM担当

Arnaud Mondy
常務執行役員
セールス・マーケティング担当

河中 泰治
執行役員
国内営業担当
中国事業推進担当(兼)

Marc Enjalbert
執行役員
APEM担当

錦 朋範
執行役員
技術開発担当

西山 嘉彦
執行役員
経営管理担当

松本 敦
執行役員
開発担当
品質保証担当(兼)

藤田 俊弘
常務執行役員
技術戦略担当

原田 博丞
執行役員
新規事業開発担当

Over 70 years of Innovation

Future

IDECは、1945年に「和泉商会」として創業しました。ニーズに着目して開発した機械設備に欠かせない開閉器が産業界から高い評価を受け、ロングセラー製品となりました。石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。



設立当時の店舗



三国工場



創業者の松本 恒雄

高度経済成長に伴う計測・制御技術需要の高まりを受けて、制御機器の総合メーカーへと転換しました。また、工場設備の自動化・機械化の進展により、電子・システム製品分野へ進出するとともに、企業規模の拡大と量産化への対応のため、海外に生産・販売拠点を設立しました。



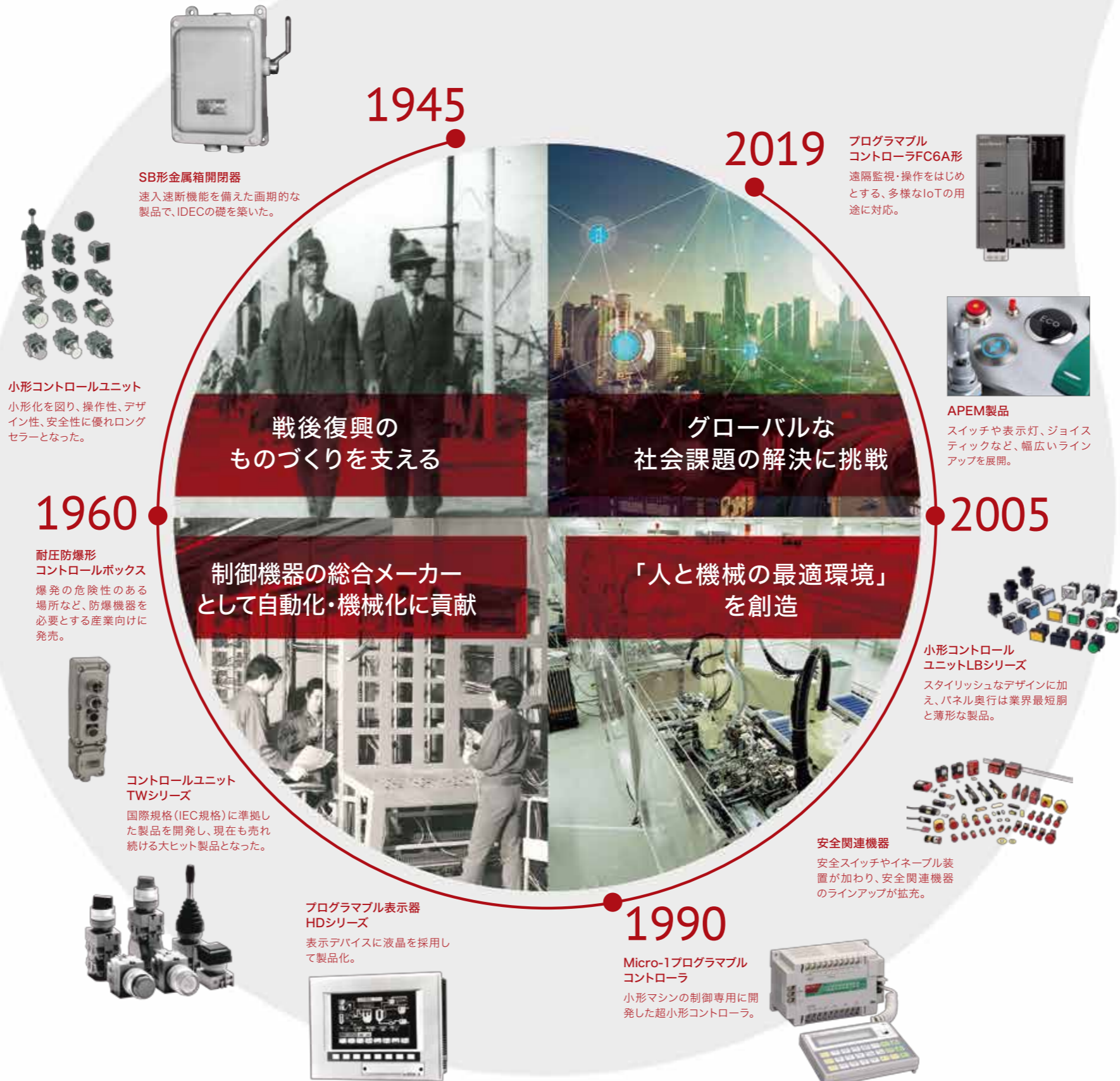
IDEC CORPORATION(米国)設立



ドイツ・ハノーバーメッセに出展



新社長方針発表会を開催し中期基本構想を発表



創業60周年を迎えた2005年、「IDEC」へと社名を変更しました。2017年にはフランスのAPEM社を買収し、グローバルビジネスの拡大を進めるとともに、社会課題の解決に貢献する新規事業にも取り組んでいます。多様化する社会のニーズに、IDECの技術を活かしたソリューションでお応えし、100周年、さらにその先の未来に向かって成長を続けていきます。



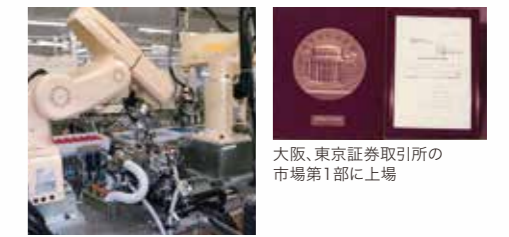
IDEC本社/技術研究センター



ものづくりの現場は、人と機械が共存する環境が主流となったことから、安全確保のニーズに応える製品として、国内初となるイネーブルスイッチなどの製品開発を進めました。また国内外の拠点を拡大するとともに、主力工場である滝野事業所には、多品種変量生産を実現する自動化・省力化設備を導入しました。



創業40周年を記念した展示会で制御機器の幅広い製品を紹介



滝野事業所に導入されたロボット制御セル生産システム

Company Information

企業概要

社名	IDEC株式会社
英文社名	IDEC CORPORATION
設立	1947年3月26日
資本金	10,056,605,173円
従業員数	連結3,654名(2019年3月31日現在) ※特定社員・臨時社員含まず
上場取引所	東京証券取引所市場第1部
本社/技術研究センター	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号 電話:06-6398-2500(代表)
東京本社	〒108-6014 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟14階) 電話:03-5782-7690(代表)
事業所	筑波、尼崎、福岡、滝野
営業所	仙台、高崎、大宮、水戸、東京、多摩、横浜、長野、新潟、 富山、金沢、浜松、名古屋、京都、大阪、岡山、福山、 広島、四国、福岡
物流センター	竜野



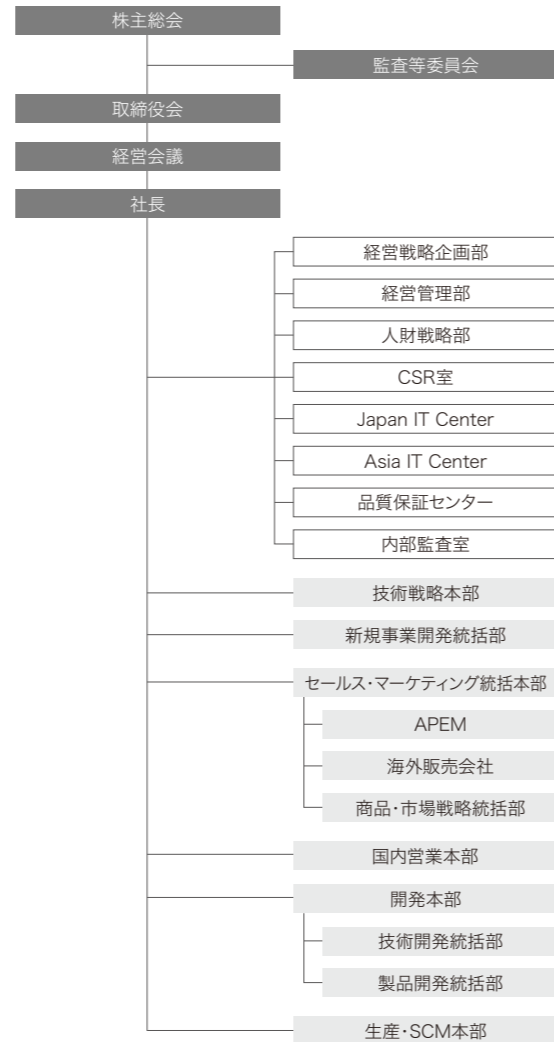
本社 東京本社



尼崎事業所 滝野事業所

組織図

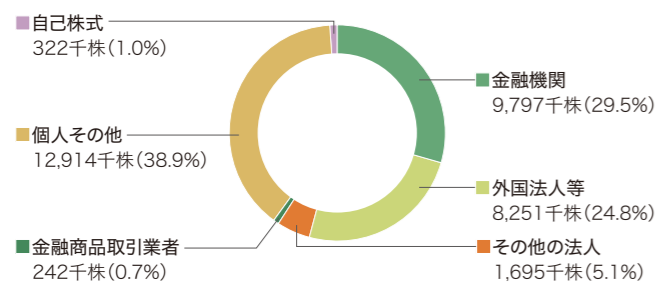
2019年4月1日現在



株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	33,224,485株
株主数	10,037名

所有者別分布

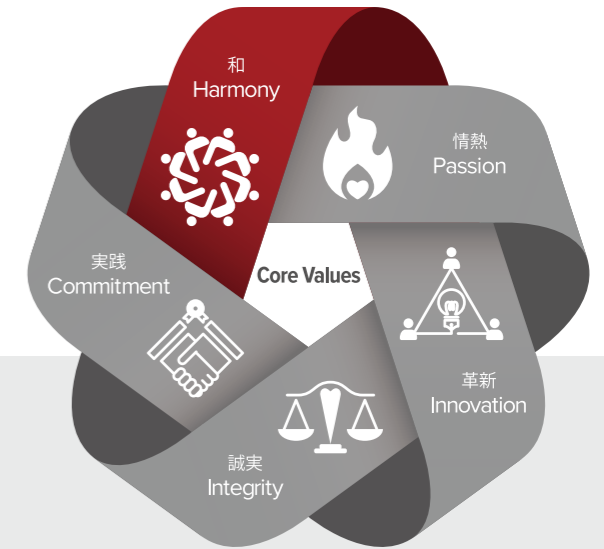


大株主 (上位10位)

2019年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,868	14.80
JP MORGAN CHASE BANK	2,829	8.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,984	6.03
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,560	4.74
有限会社船木興産	1,041	3.16
株式会社みずほ銀行	812	2.47
藤田 慶二郎	731	2.22
BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF	683	2.08
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED	659	2.01
船木 俊之	625	1.90

(注)上記大株主の記載は、有価証券報告書の開示内容に準じています。



Our Principles

Our Principlesとは、Core Valuesを基にした働く上で具体的に意識すべき考え方・行動です。

<p>Harmony 和</p>	<p>Customer-Focus: カスタマーフォーカス 全てにおいてお客さまを優先し、最高品質の製品やサービスを提供することで、常に満足度の向上に努めます。</p> <p>Collaborate: 共創 「チームワークに勝る個人なし」——私たちは力を合わせて、最高のパフォーマンスを追求します。</p> <p>Environmentally Aware: 環境配慮 地球環境保護に責任を負い、その役割を果たします。</p>
<p>Passion 情熱</p>	<p>Enjoy: 楽しむ ベストな成果を生み出すために、楽しむことを忘れずに仕事に真摯に取り組みます。</p> <p>Be Positive: ポジティブに 一人ひとりが積極的に仕事に取り組むことで、エネルギーに満ちた環境を作り出します。</p> <p>Have Ambitions: ベストを尽くす 自ら学ぶことに最善を尽くします。絶え間ない自己研鑽と自己成長により、潜在能力を開花させます。</p>
<p>Innovation 革新</p>	<p>Learn from Mistakes: 失敗を恐れない 成功にはチャレンジと失敗がつきものです。失敗を振り返ることで多くを学び、成長します。</p> <p>Embrace Change: 変化を受け入れる 変化に意思をもって挑戦し、柔軟に受け止めます。変化に適応することで、自らを成長・発展させていきます。</p> <p>Value Differences: 個性を生かす 私たちのさまざまな個性は強みです。多様性を活かすことで、新しい製品やサービス、アイデアを生み出します。</p> <p>“Kodawari”: “コダワリ” 品質・信頼性・安全にこだわり、追求しつづけることで、業界水準を超える製品を提供します。</p>
<p>Integrity 誠実</p>	<p>Be Honest: 正直であること 誠実さは、お客さまやステークホルダーと持続的かつ友好的な信頼関係を構築する上で欠かすことができません。信頼が一朝一夕に得られるものではないとの理解のもと、誠実かつ粘り強く行動します。</p> <p>Show Respect: 敬意をもって 常に相手を敬う気持ちを持ち、それぞれの立場を尊重して行動します。</p> <p>Do the right thing: 高い倫理観をもつ 法令および社内規程を遵守し、どのような状況であっても倫理観と責任感を持って行動します。</p>
<p>Commitment 実践</p>	<p>Walk the Talk: 当事者意識 成果を出すことが重要であることを認識し、自らの行動とその結果に自信と責任を持てるよう常に最善を尽くします。</p> <p>Work Smarter: より効率的に “Work smarter, not harder”——私たちは限られた時間の中で最大の成果を上げるために、効率的で無駄のない行動を心掛けます。</p> <p>Focus 20: フォーカス20 仕事の優先順位を明確にし、成果を左右する極めて重要な20%の部分にフォーカスすることで、最小限のリソースから最大限の成果を生みだします。</p>